



竹内街道・横大路(大道)～難波から飛鳥へ日本最古の官道～ ガイド付ウォーキングイベント



奈良県橿原市

コース
マップ

横大路周辺の史跡と日本最初の本格的な都「藤原京跡」を巡るコース。

日本遺産認定歴史の道、竹内街道・横大路(大道)とは

推古天皇21(613)年に敷設された竹内街道・横大路(大道)は、外交の玄関口である難波津から堺を経て、政治の中心だった飛鳥・小粟田宮(おはりだのみや)を結ぶわが国最古の官道。総延長約40キロ、幅20メートル以上だったといわれる。難波宮の朱雀大路から南下する難波大道、堺と長尾神社(奈良県葛城市)を東西に結ぶ竹内街道、長尾神社から小西橋(桜井市)を結ぶ横大路の三つの道からなる。古代以来、大陸との外交や聖徳太子信仰、物流の拠点を結ぶ経済など、時代とともに多様な表情を刻んできている。平成29(2017)年に日本遺産に認定された。



主催:竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会 共催:産経新聞社
(大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)

文部科学省 令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



⑤耳成山

平成17年に名勝指定された大和三山(やまとさんざん)と呼ばれるうちの1つです。標高139.7m。火山の噴火で生まれた独立峰で、瀬戸内火山帶に属しています。

万葉集では、「耳梨山」と書かれています。風変わりな名前ですが、山の形からすると「耳無し」で、山裾のない、真ん丸い山ということになります。実際は、どの方向から見てもきれいな円錐形で耳成(余分なところがまったくない)というネーミングがぴったりです。中腹に耳成山口神社があり、南麓に桜の美しい耳成山公園があります。



⑦藤原宮跡

藤原京の中心となるところで、一辺約1kmの中に、大極殿や朝堂院といった政治施設や、天皇の住まいである内裏などがありました。大宝律令を制定し和同開珎を作った時代、この国のかたちは藤原京で生まれました。701年、文武天皇が、刑部親王と藤原不比等らに作らせた「大宝律令」。日本」という国号が初めて定められた最初の法典でした。飛鳥時代と奈良時代を繋いだ藤原京16年の歴史は、国の骨格が形成された重要な時代だったのです。

春・愛らしい菜の花、夏・気高い蓮と楽しげなキバナコスモス、秋・風にそよぐコスモス。季節を追って表情を変える一面の花景色も、藤原宮跡の魅力の一つです。



①ミグラヌス展望フロア

ミグラヌス10階の展望フロアは午前9時から午後9時30分まで無料開放しています。横大路が隣接する場所に位置し、橿原の町並みや、大和三山の眺望を楽しむことができます。展望フロアへは橿原市役所分庁舎中央(西側)のエレベーターにてお越しください。



②太神宮灯籠

伊勢神宮へ「おかげ参り」する人々の旅の目印でした。明和8年(1771年)の銘がありますが、近年200m東の「接待場」にあった灯籠を移設し、本来の方位から45度傾けて設置されました。



⑧藤原京資料室

世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産である「特別史跡藤原宮跡」への理解を深めるための施設。藤原京の1000分の1サイズの精巧なジオラマ(約6m×7m)は必見。土曜・日曜にはボランティアガイドによる説明もうけられます。



⑨本薬師寺跡

奈良市にある薬師寺の前身にあたる寺。天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を発願するも未完成のうちに崩御。持統天皇が意思を継いで完成させました。金堂と東西両塔の礎石が残されています。平城京遷都で西ノ京にあらためて薬師寺を建てたため、本薬師寺と呼ばれるようになりました。現在、跡地には8月末頃からホティアオイの花が咲き、目を楽しませてくれます。



③接待場

「せんたい場」として長く大切にされてきた地。江戸時代、民達が集団的に参拝する「おかげ参り」が大流行し、大和、伊勢沿いでは八木が最大の宿場町として接待連中が組織され「センタイバ」において湯茶や食事の接待を行い、宿の世話をしました。



④札の辻

古民家が300軒も残る八木町界隈。この町には歴史ある2つの街道、下ツ道と横大路が交わる場所があります。それが八木札の辻、日本最初の国道交差点です。この交差点に建つ八木札の辻交流館は、橿原市指定文化財「東の平田家(旧旅館)」を改修し平成24年に開館し一般公開しています。18世紀後半~19世紀前半頃に建てられたと考えられているかつての旅籠で、1階は接客と主人の居室、2階が宿泊施設として利用されていました。

